

(仮称)吹田千里丘計画に係る環境影響評価事後監視状況報告書  
(工事中)(平成22年度～令和4年7月)の概要

環境部環境政策室

## 1 内容

(仮称)吹田千里丘計画については、令和4年7月に竣工した。については、平成22年(2010年)から令和4年7月までのすべての工事期間中について、事後監視計画書(平成22年7月)に基づいて事業者が調査した、工事中の建設機械及び工事関連車両の稼働状況の結果、大気汚染及び騒音の調査結果と事業者が示した環境保全措置の実施状況を、年次状況報告書が未提出となっていた令和3年(2021年)4月から4年(2022年)7月に行われたD工区工事の調査結果と併せ、とりまとめている。

## 2 受理日

令和5年(2023年)1月31日(火)

## 3 事業者

株式会社大京、東京建物株式会社、関電不動産開発株式会社、  
新日鉄興和不動産株式会社、社会福祉法人博光福祉会、吹田市、株式会社 linkworks、  
株式会社情報企画、マスターズアメニティ株式会社、株式会社長谷工コーポレーション

## 4 報告の概要と所見

### (1) 令和3年4月～令和4年7月の工事について

#### ア 建設機械の稼働状況

D工区工事で使用された建設機械は排ガス・騒音対策型であり、令和3年4月から令和4年7月までの建設機械の月当たり延べ稼働台数において、令和3年5月の382台が最大であった。

#### イ 工事関係車両の稼働状況

令和3年4月から令和4年7月までの工事関係車両の月当たり延べ稼働台数を示すとともに、地元との取り決めによる通行時間、事業計画地への出入り口の状況及び計画地内の駐車場整備状況を示している。

#### ウ 大気汚染

工事中の二酸化窒素(日平均値)を測定した結果は、全ての地点で環境の基準値及び評価書の予測値を下回っている。

#### エ 騒音

建設機械の稼働による騒音測定結果は、全ての地点で環境の基準値及び評価書の予測値を下回っている。

#### オ 環境保全措置の実施状況

(2)オの項を参照

### (2) 平成22年度～令和4年7月の工事についてまとめ

#### ア 建設機械の稼働状況

本事業工事で使用された建設機械の月当たり延べ稼働台数をまとめて示す。最大であったのは平成23年10月の2,236台である。稼働台数合計は53,341台であり、評

価書での想定を下回っている。

イ 工事関係車両の稼働状況

本事業工事で使用された工事関係車両の月当たり延べ稼働台数をまとめて示す。最大であったのは平成 26 年 10 月の 7,597 台である。稼働台数合計は 219,301 台であり、評価書での想定を下回っている。

ウ 大気汚染

工事中の二酸化窒素（日平均値、一部の工区では 1 時間値も併せて）を測定した結果は、すべての工区、すべての地点で環境の基準値及び評価書の予測値を下回っている。

エ 騒音

建設機械の稼働による騒音測定結果は、測定したすべての工区、すべての地点で環境の基準値及び評価書の予測値を下回っている。

オ 環境保全措置の実施状況

工事の実施にあたって、排ガス・騒音対策型建設機械の使用、工事関係車両の台数や通行時間帯への配慮など 38 項目、計画建物についての地球温暖化、景観、日照阻害への対応など 29 項目、保全緑地での樹林地の保全、植生回復など 16 項目の環境保全措置についての実施状況を示している。

本市は、環境保全措置の実施内容について、その履行状況を確認している。

5 今後の対応

本市は、事業者に対して、適切な時期に供用後の事後監視と報告を求め、環境保全目標の達成や基準値の順守を確認し、市民にとって良好な環境が保全されるよう指導していく。